

コクガン *Branta bernicla* の鹿島灘への漂着記録池田雅実¹・桑原和之²キーワード：コクガン、*Branta bernicla*、鹿島灘、漂着、東日本大震災、波崎漁港

はじめに

コクガン *Branta bernicla* はカモ科に属し、ツンドラで繁殖し、日本には越冬のため飛来する（嶋田・桑原 2011）。国内でも数多く渡来していた（黒田 1939）が、現在、国内では主に北海道や東北地方の内湾などの湿地で越冬するだけで、他の地域では少なく、天然記念物および絶滅危惧 II 類 (VU) に指定されている（環境省自然環境局野生生物課 2002）。本種はアマモ、ノリやアオサ類を採食するため、内湾・入り江などの海岸に依存する（嶋田 2013、嶋田ら 2000）。

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、東京湾では千葉県富津市富津岬で 2011 年 4 月 1 日に 3 羽（大矢篤私信）、九十九里海岸では一宮町一宮川河口で 2011 年 3 月 27 日に 9 羽（桑原未発表）、横芝光町屋形栗山川で 2011 年 4 月 17 日に 7 羽、4 月 26 日に成鳥 2 羽、幼鳥 5 羽（寺野淑子私信）などの記録が得られている。ただし海岸への漂着例は報告されていない。今回、コクガンの漂着個体を茨城県神栖市波崎海水浴場で確認したので報告する。

観察方法およびその結果

2011 年 4 月 5 日、茨城県神栖市 波崎海水浴場 (35° 45' N、140° 49' E) で漂着鳥類の調査を行なった。16:00 - 17:00 頃まで、波崎

漁港の北側の海岸を約 500m 踏査した。調査では、砂浜の状況を記録し、漂着鳥の確認を行なった。波崎海岸では海岸全体に漂着した木やゴミが散乱していた（図 1、2）。重油にゴミがビッシリ



図 1. 調査地. 茨城県神栖市波崎. 撮影：池田雅実
Fig. 1. Study area. Hasaki, Kamisu city, Ibaraki Prefecture. Photo by Masami Ikeda.



図 2. 調査地. 茨城県神栖市波崎. 撮影：池田雅実
Fig. 2. Study area. Hasaki, Kamisu city, Ibaraki Prefecture. Photo by Masami Ikeda.

1. 習志野市在住

E-mail: torirosem115@yahoo.co.jp

2. 千葉県立中央博物館 環境教育研究科

〒260-8682 千葉県千葉市中央区青葉町 955-2

E-mail: kuwabara@chiba-muse.or.jp

付いた流木などがそのまま漂着していた。

こうした漂着物の中に死亡し漂着しているコクガンを確認したので、16時42分に携帯に付属しているカメラおよびコンパクトデジタルカメラで撮影した(図3)。漂着個体の肩や腹部羽毛に重油が付着していた。胸から腹部にかけ



図3. 漂着したコクガン *Branta bernicla*, 2011年4月5日. 撮影: 池田雅実

Fig. 3. Beached Brent Goose *Branta bernicla*, 5 Apr. 2011. Photo by Masami Ikeda.

体の一部が捕食され、えぐりとられていた。胸から腹部の羽毛が漂着個体周辺に散乱していた(図4)。腹から下尾筒にかけて白色、胸から腹



図4. 漂着したコクガン *Branta bernicla*, 2011年4月5日. 撮影: 池田雅実

Fig. 4. Stranded Brent Goose *Branta bernicla*, 5th Apr. 2011. Photo by Masami Ikeda.

に掛には全体が黒色で羽縁が白色の羽毛が確認できた。頭部の羽毛は脱落しており、短く太い嘴は黒色であった(図5)。脚は黒色で、水掻きも濃い黒色であった(図6)。これらの特徴は、コクガンの形態、羽色と一致した。ただし、個体の年齢や性別は確認しなかった。また、この



図5. コクガン *Branta bernicla* の嘴, 2011年4月5日. 撮影: 池田雅実

Fig. 5. Bill of the Brent Goose *Branta bernicla*, 5 Apr. 2011. Photo by Masami Ikeda.



図6. コクガン *Branta bernicla* の足, 2011年4月5日. 撮影: 池田雅実

Fig. 6. Toe of the Brent Goose *Branta bernicla*, 5 Apr. 2011. Photo by Masami Ikeda.

個体の資料は収集しなかったため、剥製あるいは骨格標本は残されていない。

コクガンの他にも、死後かなりの時間が経過したウミネコ *Larus crassirostris* の漂着個体も確認した。ただし、この死亡したウミネコには重油の付着は見られなかった。

考察

東北地方太平洋沖地震以降、震災瓦礫だけではなく、重油なども茨城県や千葉県に漂着していた。波崎海水浴場だけではなく、銚子市外川、犬若、潮見町の海岸や東京湾岸の千葉市美浜区幕張地域の海岸に重油が点状に漂着し

ていた。今回の死亡原因は不明であるが、重油が付着していたため、これらの油汚染による被害を被った可能性がある。なお、発見された際、体の一部の肉が欠損していた状況は、カモメ類あるいはカラス類に捕食されたためと推測される。

謝 辞

鹿島灘の鳥類に関する情報を田邊以久雄・箕輪義隆の両氏から、大矢篤、寺野淑子両氏にはコクガンの観察状況を御教示いただいた。これらの方々に深く感謝の意を表したい。

引用文献

- 環境省自然環境局野生生物課. 2002. 改訂・絶滅のおそれのある野生生物—レッド・データブック—2 鳥類. 278pp. 自然環境研究センター, 東京.
- 黒田長禮. 1939. 雁と鴨. 121pp. 修教社書院, 東京.
- 嶋田哲郎. 2013. 東日本大震災がコクガンの越冬分布に与えた影響. 日本鳥学会誌 62(1):9-15.
- 嶋田哲郎・桑原和之. 2011. コクガン. 千葉県環境部自然保護課 (編). 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—動物編: 75.
- 嶋田哲郎・桑原和之・箕輪義隆・石黒夏美. 2000. 日本で越冬するガンカモ類. 千葉県立中央博物館平成 12 年度特別展解説書: 67-77. 千葉県立中央博物館. 千葉.

A record of stranded Brent Goose *Branta bernicla* on Kashima Nada

Masami Ikeda¹ and Kazuyuki Kuwabara²

1. Narashino city, Chiba Prefecture, Japan
E-mail : torirosem115@yahoo.co.jp

2. Natural History Museum and Institute, Chiba
955-2 Aoba-cho, Chuo-ku, Chiba 260-8682, Japan
E-mail : kuwabara@chiba-muse.or.jp

Summary

On 5 April 2011, a stranded Brent Goose *Branta bernicla* was recognized at Hasaki, Kamisu city, Ibaraki Prefecture, central Japan.

Key words : Brent Goose, *Branta bernicla*, Kashimanada, drift ashore, The Great East Japan Earthquake 2011, Hasaki port